

「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用した 政策立案ワークショップの開催について

平成27年8月7日

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)は、経済産業省の協力を得て、「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」を活用している地方自治体に、産業・観光・人口分野の有識者を派遣し、RESAS を活用した政策立案等に関して自治体職員と議論を行うとともに、RESAS を用いた分析へのアドバイスを行うワークショップを開催することとしました。

ワークショップは、年度内に6回程度開催する予定であり、この模様は、全国の自治体職員が RESAS を活用した政策立案等を行う際の参考となるよう、動画配信する予定です。

1. 開催趣旨

平成27年度中においてお願いをしている地方版総合戦略の策定においては、地方自治体がそれぞれの地域の強み・弱みなどの特性を踏まえて策定することが重要であり、地方自治体が現状・実態を正確に把握するとともに、データに基づく目標・KPI(重要業績評価指標)の設定、PDCA サイクルの確立等が求められています。

こうした中で、内閣官房は、地方版総合戦略の立案を情報面から支援するため、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する“ビッグデータ”を集約し、可視化するシステムである RESAS の提供を本年4月21日から開始しています。

今後、地方版総合戦略の策定のみならず、政策立案等にも RESAS を利活用いただくために、内閣官房は、政策立案等に際しての RESAS の利活用についての理解を深めるため、地方自治体に産業・観光・人口の有識者を派遣し、RESAS を活用した政策立案等に関して自治体職員と議論を行うとともに、RESAS を用いた分析へのアドバイスを行うワークショップを開催することとしました。

また、当該ワークショップの様子については、後日、動画配信を行い、全国の自治体職員に閲覧いただけるようにすることで、政策立案等に際しての RESAS の利活用に関する知識やノウハウの共有を図りたいと考えています。

ワークショップは、年度内に6回程度開催する予定であり、第1回ワークショップは、以下の通り、8月11日(火)に、福岡県うきは市において実施予定です。

2. 第1回ワークショップ概要

- (1)日時 : 平成27年8月11日(火) 15:00~18:30(予定)
 - (2)場所 : 福岡県うきは市役所 吉井庁舎1階 パソコン研修室
 - (3)テーマ:「経済・人口分析」
 - (4)有識者: 坂田 一郎 氏(東京大学大学院工学系研究科 教授)
- ※取材をご希望のプレスの方は内閣官房にご相談ください。

